

総合政策審議会からの提言への県の対応状況

5 誰もが元気で活躍できる健康長寿・地域共生社会戦略に関する提言

提言	平成30年度当初予算での対応			平成31年度以降の対応等
	主な事業・予算額 (単位：千円)	第3期プラン 体系	事業所管部局 (課室)	
提言1 健康寿命日本一への挑戦について				
<p>すべての県民が、健康上の問題で日常生活が制限されることなく長生きできる明るい社会を創り上げるためには、子どもからお年寄りまで、すべての県民一人ひとりが健康について自覚を持って行動することが最も重要である。子ども達に対しては、秋田の教育資質を活かしながら健康意識の向上を図り、健康長寿の土台をつくることが重要であり、学校等との連携による健康教育を強化していくべきである。働き盛りの世代については、企業も含めた予防対策に官民一体となって取り組んでいく必要がある。また、高齢者の健康維持に関する取組も重要であり、生きがいづくりと併せ、フレイル等の予防を意識した対策を推進するべきである。</p>	<p>「あきた健康宣言！」推進事業（「あきた健康宣言！」推進事業）</p> <p>30,362</p> <p>県民の健康意識を高め、主体的に健康づくりに取り組む県民運動を推進する。特に働き盛り世代に対しては、企業経営者を対象に健康経営セミナーを開催する等、健康づくりに取り組む環境整備を推進する。</p>	30,362	<p>施策5-1 方向性(1)</p> <p>健康福祉部 (健康づくり推進課)</p>	
	<p>「あきた健康宣言！」推進事業（食からの健康応援事業）</p> <p>6,774</p> <p>児童・保護者への啓発資材の配布等により、適切な食生活の普及啓発を図る。</p>	6,774	<p>施策5-1 方向性(2)</p> <p>健康福祉部 (健康づくり推進課)</p>	
	<p>生きる力を育む体力づくり事業</p> <p>1,675</p> <p>児童生徒の体力・運動能力等の実態把握や教員を対象とした指導法研修会の開催など、子どもの体力向上に向けた取組を推進する。</p>	1,675	<p>施策5-1 方向性(1)</p> <p>教育庁 (保健体育課)</p>	
	<p>健やか秋田っ子育成支援事業</p> <p>3,430</p> <p>子どもたちの健康課題の解決に向け、医療関係者、家庭・地域等と連携し、健康教育と食育の充実を図る。</p>	3,430	<p>施策5-1 方向性(2)</p> <p>教育庁 (保健体育課)</p>	
	<p>元気で明るい長寿社会づくり事業（高齢者元気アップ支援事業）</p> <p>17,904</p> <p>スポーツや文化に親しむ機会を提供し、高齢者の生きがいと健康づくりを促進する。</p>	17,904	<p>施策5-1 方向性(7)</p> <p>健康福祉部 (長寿社会課)</p>	
	<p>「あきた健康宣言！」推進事業（フレイル啓発事業）</p> <p>173</p> <p>フレイルに関するセミナーを開催し、高齢者の生活機能維持への理解促進を図る。</p>	173	<p>健康福祉部 (健康づくり推進課)</p>	

提言	平成30年度当初予算での対応			平成31年度以降の対応等
	主な事業・予算額 (単位：千円)	第3期プラン 体系	事業所管部局 (課室)	
提言2 心の健康づくりと自殺予防対策について				
<p>心の健康づくりについては、体の健康づくりと一体的に進めていく必要がある。高齢者に対しては生きがいづくりや仲間づくりを支援していくとともに、うつ病等の早期発見・早期対応に向け、地域のかかりつけ医や相談機関相談員等の対応力を強化していく必要がある。</p> <p>自殺予防対策については、啓発と併せて、誰にでも起こりうること、いつでも起こりうることとして、セーフティネットの充実を図る必要があるほか、年代別の特徴に応じた、きめ細かい地域レベルでの自殺予防対策を民学官が一丸となって進める必要がある。</p>	<p>元気で明るい長寿社会づくり事業（高齢者元気アップ支援事業）</p> <p>17,904</p> <p>スポーツや文化に親しむ機会を提供し、高齢者の生きがいと健康づくりを促進する。</p>	17,904	<p>施策5-1 方向性(7)</p> <p>健康福祉部 (長寿社会課)</p>	<p>・心はればれ県民運動推進事業（子ども・若者のいのちを支える事業）については、高校は平成30年度から、小・中学校は平成31年度からの実施を予定（施策5-5方向性(4)）。</p>
	<p>心はればれ県民運動推進事業（精神疾患に対する医療等の支援対策強化事業）</p> <p>855</p> <p>うつ病等の早期発見・早期対応のため、医療従事者等に対する研修会を開催する。</p>	855	<p>施策5-2 方向性(2)</p> <p>健康福祉部 (保健・疾病対策課)</p>	
	<p>心はればれ県民運動推進事業（子ども・若者のいのちを支える事業）</p> <p>1,565</p> <p>児童生徒が困難やストレスに直面した際の対処方法を学ぶSOSの出し方教育を行う。</p>	1,565		
	<p>心はればれ県民運動推進事業（地域自殺対策強化事業（対面型相談支援事業））</p> <p>353</p> <p>働き盛り世代のメンタルヘルス対策のため、ハローワークにおける心の健康相談を行う。</p>	353		
	<p>心はればれ県民運動推進事業（身体疾患を原因とする自殺の予防対策事業）</p> <p>615</p> <p>がんや慢性疾患等を抱える方の心のケアに関する相談体制構築のためのセミナーを開催する。</p>	615		
	<p>心はればれ県民運動推進事業（地域自殺対策強化事業（補助金））</p> <p>55,778</p> <p>悩みを抱える方の支援のため、市町村や民間による相談事業や交流サロン活動等を支援する。</p>	55,778		

提言	平成30年度当初予算での対応			平成31年度以降の対応等
	主な事業・予算額 (単位：千円)	第3期7年 体系	事業所管部局 (課室)	
提言3 医療ニーズに対応した医療提供体制の整備について				
<p>すべての県民が、どこに住んでいても安心して質の高い医療が受けられるよう、隣県等とも協力しながら、救急・周産期医療提供体制の強化を図る必要がある。</p> <p>また、全国一の高齢化先進県にあつて、大学との連携により高齢者に特有の疾患の予防・治療に関する研究を進めるとともに、住み慣れた地域で自分らしい生活を続けられるよう、地域のニーズを踏まえた在宅医療提供体制の整備を図るべきである。</p> <p>さらに、医師の地域偏在や診療科偏在が解消されていない中で、医師の高齢化が急速に進んでいることから、地域医療を支える総合的な診療能力を有する若手医師等の養成に力を入れる必要がある。</p>	<p>救急医療対策事業（ドクターヘリ運航事業） 254,053</p> <p>搬送時間の短縮と救命率の向上を図るため、ドクターヘリ運航経費に対して助成する。</p>	施策5-3 方向性(4)	健康福祉部 (医務薬事課)	
	<p>救急医療対策事業（救急医療体制確保事業） 197,783</p> <p>県民がどこでも救急医療が受けられるよう、救急患者受入に係る中核的な救急告示病院の運営費に対して助成する。</p>			
	<p>周産期医療体制整備事業（総合周産期母子医療センター運営費補助事業） 146,918</p> <p>リスクの高い妊娠に対応する医療等を担う総合周産期母子医療センターの運営費に対して助成する。</p>			
	<p>周産期医療体制整備事業（地域周産期母子医療センター運営費補助事業） 36,750</p> <p>周産期に係る比較的高度な医療を行う地域周産期母子医療センターの運営費に対して助成する。</p>			
	<p>高齢化社会に対応した医療提供体制推進事業 58,766</p> <p>認知症・肺炎・脳血管疾患等の高齢者に特有の疾患に係る秋田大学による学際的な研究について助成等を行う。</p>	施策5-3 方向性(2)		
	<p>在宅医療推進支援事業 55,496</p> <p>在宅医療提供体制の確保・構築に向けた取組に対し助成する。</p>	施策5-3 方向性(5)		
	<p>医師地域循環型キャリア形成支援システム推進事業（あきた医師総合支援センター運営事業） 48,394</p> <p>あきた医師総合支援センターの運営により修学資金貸付医師等のキャリア形成を支援し、若手医師の県内定着を促進する。</p>	施策5-3 方向性(1)	健康福祉部 (医師確保対策室)	
	<p>医師地域循環型キャリア形成支援システム推進事業（総合地域医療推進学講座設置事業） 30,000</p> <p>総合医の養成及び地域医療に関する研究とその研究成果の普及啓発を行う寄附講座を秋田大学医学部に設置する。</p>			

提言	平成30年度当初予算での対応			平成31年度以降の対応等
	主な事業・予算額 (単位：千円)	第3期プラン 体系	事業所管部局 (課室)	
提言4 高齢者や障害者等が安全・安心に暮らせる福祉の充実について				
<p>介護・福祉の担い手の確保が懸念される中、高齢者等が地域で安全・安心に暮らせるよう、各市町村における地域包括ケアシステムの構築を支援し、医療・介護・福祉が連携してサービスを提供できる体制を早期に整備していく必要がある。併せて、高齢になっても、障害があっても、生きがいをもち、尊厳を保ちながら、自立した生活が送れる環境づくりを進めるとともに、あらゆる住民が共に支え合う地域づくりを目指していくべきである。</p>	地域包括ケアシステム深化・推進事業 3,178 圏域での連携促進や課題解決に向けた検討を行うとともに、情報共有を図るためのブロック別意見交換会を開催する。	3,178	施策5-4 方向性(1) 健康福祉部 (福祉政策課)	
	介護人材確保対策事業 89,538 未経験者等の介護分野への新規就労の支援、職場環境の改善等を図り、職場定着を促進する。	89,538	施策5-4 方向性(2)	
	地域でつなぐ認知症支援推進事業 55,843 認知症の方やその家族を地域で支える体制の強化を図る。	55,843	施策5-4 方向性(5) 健康福祉部 (長寿社会課)	
	元気で明るい長寿社会づくり事業（高齢者元気アップ支援事業） 17,904 スポーツや文化に親しむ機会を提供し、高齢者の生きがいと健康づくりを促進する。	17,904	施策5-1 方向性(7)	
	障害者スポーツ振興事業 38,587 障害者が気軽にスポーツ活動に参加できる環境を整備し、障害のある方の社会参加を促進する。	38,587	施策5-4 方向性(6) 健康福祉部 (障害福祉課)	
	手話等普及啓発促進事業 1,925 手話教室の開催等により手話・点字等の普及啓発を図り、障害への理解と障害者の地域生活・社会参加に向けた環境づくりを促進する。	1,925		
	ひきこもり対策推進事業 12,000 ひきこもり相談支援センターを核とした相談業務等を行うとともに、社会とのつながり支援（職親）事業により社会参加の機会を提供し、ひきこもり状態の解消を進める。	12,000	施策5-4 方向性(7)	
	「我が事・丸ごと」の地域づくり推進事業 7,112 地域共生社会の実現に向けて市町村の地域福祉推進を支援するとともに、地域福祉を支える人材の養成等を行う。	7,112	施策5-4 方向性(1) 健康福祉部 (地域・家庭福祉課)	

提言	平成30年度当初予算での対応			平成31年度以降の対応等	
	主な事業・予算額 (単位：千円)	第3期プラン 体系	事業所管部局 (課室)		
提言5 次代を担う子どもの育成について					
<p>次代を担う子ども達が、健やかに育まれる社会を実現するため、複雑な事情を抱える子ども達の将来が不利にならないよう、環境を整備するとともに、意欲の向上につながるような取組を拡大していくべきである。</p> <p>また、すべての子ども達が生涯を通じて心身ともに健康に過ごすことができるよう、学校との連携を強化し、心と体の健康教育に取り組む必要がある。</p>	家庭養護推進体制整備事業 4,200 里親制度の普及啓発やマッチング支援の充実等により、里親委託の推進を図る。	4,200	施策5-5 方向性(1)	<p>・心はればれ県民運動推進事業（子ども・若者のいのちを支える事業）については、高校は平成30年度から、小・中学校は平成31年度からの実施を予定（施策5-5方向性(4)）。</p> <p>・心の健康に関しては、各学校の道徳教育を通じて自分を大切にすする心や他人への思いやりなど豊かな心の育成を図っている（施策5-5方向性(4)）。</p>	
	子どもの未来応援地域ネットワーク形成支援事業 10,813 貧困の状態にある子どもを支援する地域ネットワークの形成、生活困窮世帯の子どもに対する学習支援等を行う。	10,813	施策5-5 方向性(3)		健康福祉部 (地域・家庭福祉課)
	「あきた健康宣言！」推進事業（食からの健康応援事業） 6,774 児童・保護者への啓発資材の配布等により、適切な食生活の普及啓発を図る。	6,774			健康福祉部 (健康づくり推進課)
	心はればれ県民運動推進事業（子ども・若者のいのちを支える事業） 1,565 児童生徒が困難やストレスに直面した際の対処方法を学ぶSOSの出し方教育を行う。	1,565			健康福祉部 (保健・疾病対策課)
	生きる力を育む体力づくり事業 1,675 児童生徒の体力・運動能力等の実態把握や教員を対象とした指導法研修会の開催など、子どもの体力向上に向けた取組を推進する。	1,675	施策5-5 方向性(4)		教育庁 (保健体育課)
	健やか秋田っ子育成支援事業 3,430 子どもたちの健康課題の解決に向け、医療関係者、家庭・地域等と連携し、健康教育と食育の充実を図る。	3,430			